令和 2 年度における糸満市の温室効果ガス排出状況について

令和 2 年度の糸満市における温室効果ガス（CO₂）の年間排出量は前年度より約 4.5%（505.3 t）増加し、11,164.0 t でした。

令和 2 年度の温室効果ガスの総排出量は 11, 164.0 t - CO₂

詳細は以下のとおりです。

令和 2 年度 糸満市温室効果ガス排出量（排出要因別）

		排出要因	排出量 (t-CO ₂)	割合 (%)
施設	CO ₂	電力	9,668.7	86.6%
		ガソリン(公用車以外)	1.1	0.0%
		灯油	45	0.0%
		軽油(公用車以外)	0.7	0.0%
		A重油	292.9	2.6%
		液化石油ガス(LPG)(公用車以外)	648.3	5.8%
		都市ガス	0.0	0.0%
	CH ₄	130.3	1.2%	
	N ₂ O	239.2	2.1%	
小計			10,985.8	98.4%
車両	CO ₂	ガソリン(公用車)	126.7	1.1%
		軽油(公用車)	44.0	0.4%
	CH ₄	0.3	0.0%	
	N ₂ O	5.1	0.0%	
	HFC	2.3	0.0%	
小計			178.2	1.6%
施設 + 車両	CO ₂ 合計		10,786.9	96.6%
	CH ₄ 合計		130.6	1.2%
	N ₂ O合計		244.3	2.2%
	HFC合計		2.3	0.0%
合計			11,164.0	100.0%

・温室効果ガス種別で見ると、温室効果ガス排出量の大部分はCO₂（10,786.9 t-CO₂）であり、全体の96.6 %を占めていました。CO₂以外では、CH₄（130.6 t-CO₂）、N₂O（244.3 t-CO₂）、HFC（2.3 t-CO₂）を合わせて3.4 %でした。

施設別及び車両別で見ると、施設からの排出量は 10,985.8 t-CO₂ であり、全体の 98.4 %でした。車両からの排出量は 178.2 t-CO₂ で、全体の 1.6 %でした。

エネルギー種別にみると、電力の使用による排出量が9,668.7 t-CO₂と最も多く、全体の86.6 %を占めていました。以下、LPG（公用車以外）、A 重油、ガソリン（公用車）、軽油（公用車）の順でした。

令和2年度 糸満市温室効果ガス排出量（組織別）

組織		CO ₂ (t)	CH ₄ (t _e)	CO ₂ 換算(t)	N ₂ O(t _e)	CO ₂ 換算(t)	HFC(t _e)	CO ₂ 換算(t)	CO ₂ 換算総計(t)	構成比	
市役所	庁舎	施設	985.3	0.0	0.0	0.0	0.0		985.3	8.8%	
		車両	82.6	4.1	0.1	8.4	2.5	0.9	1.2	86.5	0.8%
		合計	1,069.0	4.1	0.1	8.4	2.5	0.9	1.2	1,072.8	9.6%
	市長部局出先	施設	435.5	0.0	0.0	0.0	0.0		435.5	3.9%	
		車両	0.8	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0%
		合計	437.4	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	437.5	3.9%
	保育所・児童館	施設	207.5	231.2	5.8	7.7	2.3			215.5	1.9%
		車両	1.5	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0%
		合計	209.2	231.2	5.8	7.8	2.3	0.0	0.0	217.3	1.9%
	消防本部	施設	105.7	23.7	0.6	0.9	0.3			106.5	1.0%
		車両	39.1	2.4	0.1	2.5	0.8	0.2	0.3	40.2	0.4%
		合計	144.9	26.1	0.7	3.4	1.0	0.2	0.3	146.8	1.3%
	観光施設	施設	447.3	0.1	0.0	0.0	0.0			447.3	4.0%
		車両	1.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0%
		合計	448.3	0.2	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	448.4	4.0%
	地下ダム	施設	1,405.5	0.0	0.0	0.0	0.0			1,405.5	12.6%
		車両	5.8	0.5	0.0	1.0	0.3	0.1	0.1	5.2	0.1%
		合計	1,411.4	0.5	0.0	1.0	0.3	0.1	0.1	1,411.8	12.6%
	運動公園	施設	845.3	0.0	0.0	0.0	0.0			845.3	5.8%
車両		17.4	1.3	0.0	1.5	0.5	0.0	0.0	18.0	0.2%	
合計		863.7	1.3	0.0	1.5	0.5	0.0	0.0	864.3	6.0%	
各荘公園	施設	143.0	0.0	0.0	0.0	0.0			143.0	1.3%	
	車両										
	合計	143.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	143.0	1.3%	
市役所局合計		4,525.9	283.5	6.5	22.5	6.7	1.2	1.7	4,541.9	40.7%	
教育委員会	小中学校	施設	2,422.3	727.5	18.2	28.4	8.5			2,448.9	21.9%
		車両	12.3	0.9	0.0	1.7	0.5	0.3	0.4	13.2	0.1%
		合計	2,434.5	728.4	18.2	30.1	9.0	0.3	0.4	2,462.1	22.1%
	教育委員会出先	施設	553.7	25.4	0.5	1.0	0.3			554.5	5.1%
		車両	4.3	0.3	0.0	0.4	0.1	0.1	0.1	4.5	0.0%
合計	558.0	25.6	0.5	1.4	0.4	0.1	0.1	559.2	5.1%		
教育委員会合計		3,002.5	754.1	18.9	31.5	9.4	0.3	0.4	3,031.2	27.2%	
水道局	上下水道施設	施設	3,251.8	4,205.9	105.1	754.7	227.9			3,584.8	32.1%
		車両	5.5	0.5	0.0	1.0	0.3	0.1	0.1	6.0	0.1%
		合計	3,257.4	4,206.3	105.2	755.7	228.2	0.1	0.1	3,590.9	32.2%
合計	施設	10,515.3	5,213.8	130.3	802.5	239.2			10,985.8	98.4%	
	車両	170.5	10.2	0.3	17.0	5.1	1.5	2.3	178.2	1.6%	
	全体	10,785.9	5,223.9	130.6	819.7	244.3	1.5	2.3	11,164.0	100%	

※ 小数点第2位以下の数値を未表示にしている(小数点第2位を四捨五入した値を表示)ため、合計が合わないように見える場合があります。

組織別に見ると、市長部局が 4,541.9 t-CO₂ (全体の 40.7 %)、教育委員会が 3,031.2 t-CO₂ (全体の 27.2 %)、水道局が 3,590.9 t-CO₂ (全体の 32.2 %) でした。

各組織の排出量の内訳をみると、市長部局では地下ダムの 1,411.8 t-CO₂、庁舎の 1,072.8 t-CO₂、運動公園の 664.3 t-CO₂、が上位となりました。教育委員会では小中学校の 2,462.1 t-CO₂ が教育委員会全体の 81.2 % を占めていました。